

# 「いきること」 を巡る境界線を考える

2024.9.24. Tue. 15:00-17:30

[終了後フリーディス  
カッションあり]

●場所：豊中キャンパス大学会館SSIラウンジ+Zoom\* ●対象・定員：大阪大学の若手研究者で異分野との交流を通じて新しい発想・活動を生み出したい方、先着40名程度 ●参加費：無料

大阪大学は、日本や世界が直面する様々な社会課題に対して解決方法を提示し、さらに学問的にも真理を追究するためのシンクタンクとして、2018年1月に「社会ソリューションイニシアティブ (SSI)」を始動させました。SSIは「命を大切にし、一人一人が輝く社会」を目指し、各種活動を推進しています。

## 趣旨

2024年も、いのちに関わるニュースが続いている。生きることと死ぬこと、それらに対する感情や価値観、生命・生活を支える人々の関係性や制度などに向き合う看護学、社会学、哲学を専門とする研究者の話題提供から、“生きること”を形づくるものについて多角的に紐解く。そして、一人ひとりのいのちが尊重される社会のあり方に思いを馳せる機会としたい。

## プログラム (予定)

- 15:00 開会、SSI紹介 (堂目 卓生SSI長より)
- 15:10 第1部 「いきること」の境界線に関する3つの話題提供
- 3人の研究者の視点共有 (各15分) + Q&A
  - ・話題提供1 梶屋 絵理子 (医学系研究科保健学科 助教)
  - ・話題提供2 山田 陽子 (人間科学研究科 准教授)
  - ・話題提供3 小川 歩人 (学際大学院機構 特任講師)
- 16:10 ●ミニ・パネルディスカッション
- 16:55 第2部 小グループに分かれての参加者同士の交流
- 17:25 まとめと中締め
- 17:30-18:00 引き続き、オンラインでフリーディスカッション

参加登録はこちら



<https://forms.gle/bxbFNpjUEX842zZK9>